

夜間帯に精神保健福祉士が勤務する意義を再考する

当院では下記の臨床研究を実施しております。実施におきましては、当院倫理委員会の審査を受け承認を得ています。なお、本研究は2024年10月24日～25日に開催予定の第32回日本精神科救急学会学術総会で発表予定です。

本研究は、相談記録、診療録より一部抜粋して行う調査となります。したがって個々の患者様への研究協力は致しません。ホームページ上に研究情報を公開し、当該者からの申し出がなければご承諾いただいたものと判断させていただきます。しかし、本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療録や診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく下記問い合わせ先にご連絡ください。

1.研究目的

当院は精神保健福祉士が24時間365日相談対応に従事しております。相談内容は多岐に渡り、受診や入院の相談や、当院以外に通院している方からの不安の訴えなど様々です。今回、夜勤相談対応に焦点をあて、精神保健福祉士が夜勤業務を行う意義を考察します。

2.研究対象

2023年度、夜勤帯に相談対応した患者・家族等

3.研究方法

2023年4月1日～2024年3月31日の期間での夜間帯の相談者を対象に精神保健福祉士日直・当直日誌や相談記録、診療録から情報を収集し一部抜粋します。

4.個人情報の取り扱い

本研究は個人のプライバシーに関しては細心の注意を払うとともに、調査の分析、結果について個人が特定できるような公表の仕方は致しません。また、この調査で得られたデータが、本研究の目的以外に使用されることはありません。

不明な点などございましたら、いつでも下記までご連絡下さい。

[研究指導者] 雁の巣病院 医療相談部
神谷 直美
稲葉 宣行

[研究者] 雁の巣病院 医療相談部 相談支援課
平川 裕士

[連絡先] 雁の巣病院 医療相談部 相談支援課
平川 裕士

〒811-0206 福岡県福岡市東区雁の巣1丁目26番1号
TEL 092-606-2861 FAX 092-607-2211